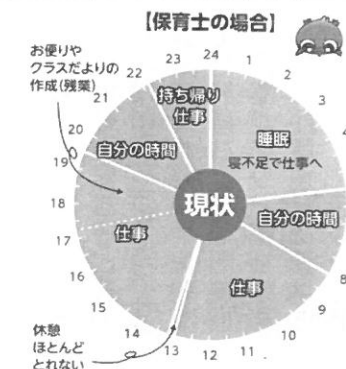




毎年秋季に、福祉保育労働組合として国会請願の署名に取り組んでいます。今年の要請項目は、2本まで絞りこみました。1つ目は「職員配置基準の改善」です。保育分野では、0歳児3人に対して保育士1人という基準が1998年から変わっています。また1歳児は3歳児までの配置基準は1969年から変わつ

ておらず、4歳児以上に関しては戦後から変わっていない状況です。障害・高齢分野でも、現状の配置基準では到底行き届いた支援が出来ないため施設の独自努力に頼っています。

配置基準の改善は1人ひとりの子どもや利用者の安全・安心のため、そして福祉保育労働者の休憩・有給

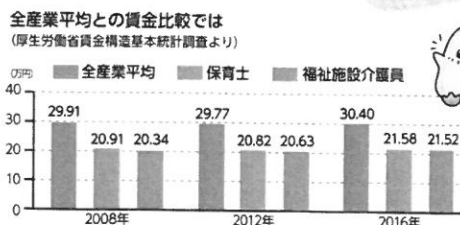


休暇が取得できる職場づくりなど、私たちが元気に働き続けられるために必要なのです。

それは、より質の高い保育・支援につながっていきます。

全産業平均より月9万円も低い

ほとんど
改善されていないピヨ



※所定内賃金（時間外勤務手当、深夜・休日・宿日直・交替手当などを除くもの）

2つ目は「賃金の抜本的な改善」です。

今年、政府は60時間の一定研修を受けた中堅保育士に対して4万円の処遇改善加算を新設しました。障害・高齢分野でも、キャリアアップの制度をより細かく定め、処遇改善加算を申請すれば、1万円ほど加算がつくように

なりました。

しかしながら全産業平均と比べ約9万円ほど低い賃金格差は一向に埋まらないままです。福祉業界での職員定着率の悪さに「給料が低い」ことがあげられます。根本的には福祉職場の人件費財源がきちんと見積もられておらず、事業所努力になっ

「あることを成し遂げようと、困難に耐えて努力すること」という意味でした。▼大切な事だと思います。でも、1人ひとりで感じ方は違うし努力の

風の音

私たちは昨年 ストを含む全国いっせい行動に立ち上がりました。今年はよりいっそうの社会的なアピールをし、国会へ多くの声を届けてくために、「処遇改善署名」を集めていきますよ。

る公開保育の動画を見ました。
1人の子だけ何回も失敗し跳べないでいると、クラス全員が先生の誘導でその子を囲み「できるーできるー」と気合を入れていました。その後見事に跳べ、周りから歓声の聲が湧き上がります。▼コメントに「素晴らしい!」「感動した!」が多かったです。私はこの動画を見て、腹が立

人100筆目標で10月に各分会に配布しています。現場から、足元から署名を取り組み、対話を広げ、たくさんの人に私たち福祉保育労働者の現状を知ってもらい、声を上げる力にし、改善を求めていきましよう！

「人」と比べない頑張り」を伝えていく必要があると心から

作：鈴木 宏子さん（びわの実分会）

風の音

つぶやき

「或る執行委員の」

▼「頑張れば出来る」そんな言葉をよく聞きます。私も子どもの頃、よく言われました。そもそも「頑張る」とはどういう意味なのか調べてみると「あることを成し遂げようと、困難に耐えて努力すること」という意味でした。▼大切な事だと思えます。でも、一人ひとり感じ方は違うし努力の仕方も違う。出来なかった子は頑張っていないのだろうか？YoYoubeでどこかの幼稚園児が次々に高い跳箱を飛んでいる公開保育の動画を見ました。一人の子だけ何回も失敗し跳べないでいると、クラス全員が先生の誘導でその子を囲み「できる！できる！」と気合？を入れていました。その後見事に跳べ、周りから歓声の音が湧き上がります。▼コメントに「素晴らしい！」「感動した！」が多かったですが、私はこの動画を見て、腹が立ちました。結果跳べたから良かったけれど、もし跳べなかったら？クラス全員からブレッシャーを与えられ、跳べなかった時のこの子の気持ちは：なんで全員が同じ高さを跳べなければいけないのか▼今の日本の社会にはまだまだ勘違いをしている大人がたくさんいると感じました。子どもたちには、本当の「頑張る」とは何か？「自分なりの頑張り」「人と比べない頑張り」を伝えていく必要があると心から思いました。（Y・T）

10月12日支部交流会

「自立支援」「生活支援」の現場から

～少数組合員や個人加盟のつながりを大切に…
地域の福祉労働者を支える支部として

10月の支部交流会では、組合に加入したばかりの母子生活支援施設キルシェハイム（犬山福祉会）や、児童養護施設ゆりりん、名古屋市の母子生活支援施設で働く組合員から日々の仕事内容を聞きながら、悩みや疑問を交流し合いました。

自立支援を担う一まさに人を支えるということ、を文字どおり実践している職員たちの思い、その施設で生活する子どもや親たちの現実に、参加者は様々なものを心に投げかけられました。



今回は残念ながら参加できなかった乳児院の赤ちゃんの家族さんほ（犬山福祉会）の資料も含めて、4職場の勤務体系や職務内容を聞きました。参加者には保育園職員が多かったため、思わずその違いに驚く声が上がることもありました。

施設に入居するのは、様々な事情により家庭での養育が困難な子どもや生活が困難な方たちです。家庭支援相談員や里親支援相談員など、専門職員の配置があり、福祉事務所など他職場との連携も重要です。生活の場であるため、開所時間というくりはなく24時間のサポートが必要になり、保育職員が夜勤を務める施設もありました。

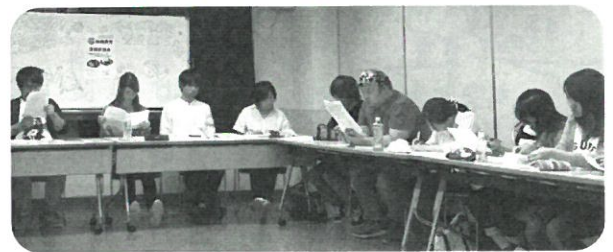
設もあります。母子支援では、家事や育児だけでなく役所への提出書類作成などもサポートしますが、その送迎や外国籍の入居者への説明などはなかなかたいへんなこともあるそうです。

子どもや親たちの

心よりこうい

「子どもたちが帰る場所、おうちでありたい」と語るの、ゆりりんの三宅さん。6棟の施設には3歳～18歳までの子どもたち、18歳までの子どもたち、少人数で暮らしています。自立を支えるのは入居者が施設を出てからも続いていきます。以前入居していた少女が母になり、子どもを連れて度々立ち寄ってくれる。その様子を話す眼差しは喜びにあふれています。

参加者の感想の中に「子どもやその親にとって心よりどこかがあること、自分のことを思ってくれる他者がいてくれる。いざとなったらここがある！という安心感は、きつとどこかでよぎる瞬間があると思います」とありました。



「自立ってなんだろう？」 葛藤、無力感を抱えながら、 仲間とともに向き合い続ける

DVや虐待など厳しい経験をしてきた子どもや親たちに向き合うのは、気力も体力もたくさん必要になります。母親が、子ども自身が「前を向いて行こう」と思えなければ進めません。そしてそれは支援員が『させる』ものではないし、無理に進むものでもない。入居者と向き合えば向き合うほど「自立ってなんだろう？」「自分がやっている

ことって何なんだろう？」という葛藤が湧くのだと、3施設のみんなで共感していました。

同じ（犬山）福祉会の施設ですが、職務内容を聞いたのははじめて。保育園と重なる部分もあるけれど、もっと深く重い仕事と知った」という保育士の感想に、同じ法人内でも乳児院・母子生活支援の職場を知るこの機会はとても貴重だったのだと感じました。

今回、この交流会では、同じ職種同士のつながりができたこと、他分野を知って学べる交流ができたことは大きな成果でした。同じ気持ちで働いている仲間が存在は大きな支えになります。また、自分の働く職場の外に広がる多職種の世界を知ること、必ず自分の職場にも生かすことができま

地域の福祉労働者の 支えとして

子どもたちのため、すべての人のためにという、根っこで私たち福祉保育労働者はつながっています。今後こうした交流を重ねながら、地域の支部として、少数職場の組合員や個人加盟の組合員が力強く働き続けられるよう、仲間を支えていきましょう！

報告びわの実分会
鈴木宏子

12月9日(土)13:30~16:30

17秋闘労働組合講座

@ウィルあいち第6会議室

『組合って何??』

みんな集まれ～!

交流から活力に！ 千種名東支部交流会inぽけっと

9月15日に、千種・名東支部が東部地域療育センターぽけっと（以下ぽけっと）に訪問し交流会を行いました。

ぽけっと分会は、支部に属さず分会単位で活動をしています。支部にはオブザーバーとして参加しながら交流をしています。地域の保育園とのつながりを持つために、出張支部交流会を行っています。今回で2回目の訪問になりました。



本山駅から徒歩約20分 ぽけっとの外観



10/25に行ったちよい飲み分会の様子

シリーズ・名物組合員
杉村 民代さん
いっぱい笑顔分会

デイサービスの自己紹介の時に「杉村春子（平成生まれの組合員さん）は？ですが、高齢者にはすぐわかる。」の杉村です。「と自己紹介する、いっぱい笑顔分会が一番お姉さまの2代目分会長の杉村民代さん。

お料理が得意で、ちよい飲み分会をいっぱい笑顔分会です。時に、いつも4〜5品腕をふるって下さいます。季節感あり・盛り付けよし・味付けよしでとっても美味しいです。そしてパワーも半端ないです。毎週ジムに通い、

ふだん見れない療育現場の探索★

ぽけっとは、名古屋市内に作られた5カ所めの地域療育センターです。

事業内容は、毎日子どもたちが登園して来る児童発達支援センター（通園）と、小児科・発達相談・整形・耳鼻科・理学療法・作業療法・言語療法を行っている診療所、親子で通う療育グループなどがあります。0歳から就学前の子どもを対象とした療育施設です。

千種・守山・名東区を

腰には万歩計、デイには雨の日以外は自転車通勤、頭下がりです。

また、とても多趣味でゴルフ場の景色が大好きでゴルフ歴20年、ドライブや旅行も好きで、最近では脳の健康と脳トレの為に健康麻雀を始め、今はまっているそうです。ゆくゆくは指導者になりたいと思っておられます。あまりの多趣味にびっくり！

分会長、これからも美味しい料理よろしくお願ひします。

（報告：いっぱい笑顔分会 会 石原たま江）



管轄とし、日々何十組もの親子に関わっています。参加者は千種・名東支部の各保育園の組合員11名と、ぽけっとの組合員12名が参加しました。

交流会ということで最初にみんなアイスを食べ、場が和んだところでぽけっと内の見学に出かけました。

2回目の人もいましたが、今回は以前見なかったところまで見学でき楽しんでいます。

普段は見ることもない通園の保育室や、保育園や幼稚園の子どもたちが来ている相談室・訓練室等を見学して、実際にどのような環境で子どもたちが過ごしているのかを知ってもらう機会になりました。

日々の悩みを交流

見学の後はグループに分かれて交流会です。普段の悩みや、日々の大変さを出し合いました。

あるグループでは、「肢体不自由の子の排泄介助をどのようにしたらいい

のか」「発達に不安がありどのように保護者に伝えたいのか」など保育園の保育士さんからの悩みが出され、ぽけっとではどのようにしているのか等交流をしました。ぽけっとでは、トイレに行くこと、座ることの経験を大切にしていることや、重症心身障害児にも布おむつを利用することで濡れた感覚やきれいにした時の気持ちよさを感じやすいようにしている話がありました。



明日からの活力に！

参加者からは、「とても有意義な時間だった」「保育の根底にあるものは同じなんだと分かった」「保育園も療育センターも保育の仕事で悩みは同じなんだと心強かった」「アドバイスがもらえてよかった」「もっと時間があればよかった」「保育園で研修会を行ってほしい」等の意見が聞かれました。

具体的に子どもとの関わり方や、保護者支援の話などの意見交流や、支援方法を考え合えたのがよかったように感じます。

地域の保育園と療育センターが顔の見える関係になることで、困ったときに相談したり関わりを持ちやすくなり、より連携がとりやすくなります。地域でつながることって大切ですね！今後の働きにも変化が出てくると良いなと思います。

（報告）

東部地域療育センター
ぽけっと分会 渡辺

地本カルトクイズ

もっと東海地本のことを知ってもらおうと出来たコーナー！

【第12回の当選者】

お題：思い出の運動会の1場面を！

樋田千夏さん（かわらまち保育園分会）

⇒運動会の途中で休講がなくなり、帰宅したこと(10+)

当選おめでとうございます！

【12回目の正解】

1問：2003年に名古屋で開催されたのは第〇回社研集会？

⇒第17回社会福祉研究交流集会

2問：大鳥分会はこの市にある？

⇒鈴鹿市

3問：10月12日の支部交流会のテーマは？

⇒少人数組合員とのつながりを大切に

【第13回目カルトクイズ】

何回も風光や25周年誌をよく見て探してね★

第1問：地本結成『10周年宣言』の中に「仲間」という言葉は何回出てくる？(25周年誌)

第2問：2010年のNPT代表派遣の写真に写っている横断幕、向かって左の折り鶴の色は？(25周年誌)

第3問：前回のカルトクイズ【第11回目カルトクイズ】となっていますが、本当は第〇回目でしょう。（すみません前回間違えました…。）

お題：私の〇〇の秋！この秋やりたいこと、やったこと。

応募方法：回答とお題にそった一言を記入しFAX(052-881-2998)かメール(fukuhotk@onyx.dti.ne.jp)で気軽にご応募ください！件名にカルトクイズと記入を！

全問正解の方のうち、3名の方のメッセージを紙面に掲載し紹介します。見事掲載された方には地本「風光」から図書カード1,000円分を進呈します。

応募締め切りは12月末日まで。

当選者は旗びらき(1月12日)で発表します。

～今後の予定～

11/11-12(土・日) in大阪

⇒障害職場の全国交流集会

11/14(火) 19:00～

⇒保育協(総会)

11/18(土) 14:00～

⇒パ臨連元気の出る集会

11/18-19(土・日) in山形

⇒高齢職場の全国交流集会

11/24(金) 19:00～

⇒障害協(総会)

12/9(土) 13:30～

⇒秋闘労働組合講座

@ウィルあいち

12/14(木) 19:00～

⇒スト権管理委員会

1/12(金) 19:00～

⇒臨時大会/旗開き

1/27(土) 10時～/13:30～

⇒スト学習/地本委員会

まずは自分が今どんな状態なのかを知ることです。スマホで「5分できる職場のストレスチェック」の文で検索してみてください。質問は57問ありますがそんなに時間はかかりません。すべての質問に答えると、

「あなたのストレス状態」の結果が出されます。対処法なども示されるので参考にしてください。

『ごころの耳』という厚労省が設立しているメンタルヘルス・ポータルサイト。ストレスチェックの他に「疲労蓄積度」や「15分でわかる職場復帰支援」など。本人・家族・事業者すべての人が活用できるサイト。
<http://kokoro.mhlw.go.jp>

【編集後記】

今期より風光の担当になりました。初めての編集に携わりました。2ヶ月に1度の発行というペース、初めての認識したような状態でしたが、先日は機関紙学校に参加のめどと感じました。見ると、新聞編集の基本的なやり方と似ています。(S・S)

柳原さんがやまびこ作業所へ足しげく通い、「何をしたいか」聞くことや、自分たちの悩みも打ち明けることで対等な関係を築きあげ加盟につながりました。加盟につながってからも、信頼関係を築いていく努力が大切と感じたことから出た言葉。

職場対部コーナー

実は大切！

ストレスセルフケア

みなさん、毎日元気に楽しく働けていますか？私たちが福祉の仕事はストレスをためやすいのではありません。心身共に疲れ、前に職場改善をしていく事と共に、セルフケアといつて自分でできるストレスへの対処をしていく事が大切で。

分会会議でも

やってみよう！

一人でやってみても良いですが、分会会議で行い、みんなの健康状態を共有するのも大切です。結果を労働安全衛生委員会で話し合ってもらったり、分会として「健康で生き生きと働き続けるために」の視点で考え要求していくのもいいでしょう。

「5分できるストレスチェック」編

5分できる職場のストレスセルフチェック

4つのSTEPによる簡単な質問から、あなたの職場におけるストレスレベルを測定します。質問は全部で57問です。(所要時間5分) はじめに性別を選んでください。



男性

女性

耳

37%

厚生労働省

新コーナー

あの一言

いろんなところに

愛の種はある

いろんな水や

肥料を与えたり、

こちらの悩みも

話すこと！

信頼関係を育もう

両思いになつてからも

課題はある

どう、愛を育むか。

(元 中村東支部長

柳原幸典さん)